

災害時の連絡網は？



大原 広巳 議員

町長

防災無線をメインに対応する



有効活用したい防災ガイド&マップ

【大原】緊急災害時の本部立ち上げは？

【町長】震度4以上の地震で第一配備、5弱で第二配備、5以上で第三配備としている。

【大原】本部の人員配置は。

【町長】事前に各課ごとに計画している。

【大原】町民に対する連絡網は。

【町長】防災無線を中心に情報伝達を行う。

【大原】全町内停電時の対応は。

【町長】本庁と中山・大山支所、保健福祉セ

ンターなわ・だいせんの5カ所に非常用電源がある。防災無線もバッテリーを備えていて、情報発信に支障はない。

【大原】各集落の責任者との連絡にショートメールを活用しては。

【町長】考えていない。

【大原】庁舎の火災時のデータ対応は。

【町長】民間データセンターと保存契約をしている。

【大原】防災ガイドマップの活用は。

【町長】各集落の要望に応じて説明会を行う。

企業誘致の現状は？

町長

宣伝を継続していく

【大原】工業団地の空き状況は。

【町長】造成地が3000m²、造成可能地は2万m²ある。

【大原】山陰道開通後の傾向と対策は。

【町長】地震などの災害対策のため、工場進出の問い合わせが増えている。交通インフラの向上や災害の少なさをアピールしていく。

【大原】自然や子育て環境のよさをPRしては。

【町長】県と連携を密にし、他町との違いをPRする。

【大原】太平洋側の企業誘致のために東京・大阪に職員を派遣して

は。

【町長】以前、県の大阪本部に派遣していた時の人脈や経験を誘致活動に生かしている。現在、派遣は考えていない。

【大原】大工場ばかりではなく、空き家などに小規模企業を呼べないか。

【町長】徳島県の神山町をモデルに、**サテライトオフィス**の誘致も進めたい。また学校跡地なども宣伝する。

※**サテライトオフィス**
企業の本拠地から離れたところに設置された事務所



企業進出を待つ大山IC工業団地